

香港の化粧品・スキンケア市場について

香港駐在員事務所

秘書 Hau Siu Yun, June

ほんの10年前まではあまり化粧をする習慣のなかった香港人ですが、最近は若い世代を中心にリップメイクやチークメイクをする女性が徐々に増えているように思います。香港では日本や韓国のファッション雑誌・テレビドラマの人气が高く、それを見た女性たちが化粧に興味・関心を持ったことも理由の一つではないでしょうか。

香港は湿度が高く、アイメイクには適さないため、多くの女性はマスカラやアイシャドー等をあまり使わず、リップメイクをより好んでする傾向があります。また、強い紫外線や大気汚染を原因とした肌のトラブルに悩まされる女性が多いため、「サンケア」や「クレンジング」といったスキンケアへの需要が大変高くなっています。高齢化の進んでいる香港では、アンチエイジング商品への関心が高いことも特徴の一つと言えます。

英国の大手調査会社「Euromonitor」によると、2010年の香港における化粧品(color-cosmetics)市場は約15億香港ドル(約158億円)で、スキンケア市場は約51億香港ドル(約536億円)です。なかでも、基礎化粧品やクレンジングなどのフェイシャルケア用品は特に人気があり、化粧品・スキンケア市場全体の約70%を占めています。

中国本土からの買物客が増加したことも香港の化粧品・スキンケア市場の拡大に繋がっています。昨年の中国人旅行客は前年比23.9%増の2,810万人に上っており、休日になると、大型バスに乗って中国本土から多くの中国人観光客が来港し、ブランドの化粧品やファンデーション等を大量に購入していく様子が良く見られました。

輸入品に関税のかからない香港では、中国本土よりも安くブランド商品を手に入れることができます。さらに、偽ブランド商品への厳粛な取り締まりを行った結果、消費者が安心して買い物ができるようになったことも人気の理由となっているようです。

最近では、日本企業による香港の化粧品・スキンケア市場への関心も高まっており、資生堂等の国際的に有名な化粧品メーカーだけでなく、中高年女性向け基礎化粧品の通信販売を行う企業や、美容関連商品の情報ポータルサイトを運営する企業など、様々な業態の日系企業の進出も相次いでいるようです。

今後、香港を起点として、化粧品等の消費に目覚めた中国・ASEANへのビジネスチャンスはさらに広がっていくと思われます。



(中国人観光客などで賑わう、百貨店内の高級化粧品売場)

以上